

令和2年度保育所自己評価

社会福祉法人さいわい福祉会
野ばら保育園
野ばら第二保育園

令和2年度は、施設管理・健康管理・保育運営等、新型コロナウイルス感染の対策に明け暮れた一年間であった。

I. コロナ対策

- 4月～6月** コロナ感染拡大の為、自粛宣言が国、県、市より発令され、学校関係、幼稚園は休校・休園となる。それを受けて保護者への登園自粛願いをし、極力家庭保育の協力をお願いした。
施設内の感染防止設備・・・オゾン殺菌機、空気清浄機、キエル菌
登園者の体調、発熱、マスク着用、手指の消毒等をお願いした。
保護者からも有効な消毒スプレーや手作りマスク等の寄附をしていただき
応援をいただく。

行事について

- ・ 4月の入園式・・・時間短縮、人数制限の中で実施（新入園児・年長児出席）
- ・ 夏まつり・・・夜の部（保護者参加）の中止 平常保育の中で実施
年長児のみ 土曜日1時間程度実施（保護者1名参加）
- ・ 運動会・・・3歳未満児クラスは、各クラス別に夕方30分程度実施
3歳以上児クラスは、午前中実施
（保護者：年長2名・年中1名・年少1名参加）
- ・ のばらっこの会（発表会）
3歳未満児クラスは、各クラス別に夕方40分程度実施
3歳以上児クラスは、各クラス1時間ずつ発表・年長児発表
- ・ 卒園式・・・年長児のみ 保護者2名出席

※ 上記のように

- ① 行事については例年通りに実施した。
- ② 保護者参加についてはあらゆる面（参加者の人数制限、実施時間の短縮、会場の使い方等）で検討した。
- ③ 実施当日の配慮・・・問診票の記録・検温・マスク着用・手指の消毒等、充分に行なう。

上記のことに注意・配慮して行事における園児の成長、喜びや保護者とのつながりに生かしていった。

日常保育について

- ・ 三密を出来るだけ避ける対策（特に送迎の仕方・食事中・午睡中ホールも保育室として利用）
- ・ クラス毎の保育、極力入り交じらないで小単位で動く。
- ・ 換気、オゾン機、殺菌消毒、手指の洗い、備品・玩具の消毒
- ・ 2歳以上児のマスク着用のすすめ
- ・ 発熱時の対応・・・37.5℃以上の発熱後は、解熱後24時間経過し、医師記入の意見書を持って登園してもらった。
- ・ 行事の縮小化により、保育者に時間的余裕が出て、日々の生活や遊び、活動をより充実させることが出来た。
- ・ 保育者の働きやすさにもつながり、特に家庭をもっている保育者の定着にもつながり、求人活動にも良い影響が出て、日常保育の長所として出てきた。

資料

1. 行事後の保護者の声
2. DVD、写真の提供
3. 子育てメッセージ
4. 保育者の声

II. 保育の質の向上(研修)

- ・ 研修…リモート研修 安田式体育、コダ―イ研修(育児担当制、パート保育士・職員を含めて殆どどの職員が受講)
- ・ わらべうた指導…広渡先生に二園各クラスの園児を対象に実践指導をしていただく。
- ・ 公開保育…3歳未満児の保育の充実に向けて、野ばら・野ばら第二保育園がお互いに保育を公開して、保育の質をより高め合った。
- ・ 重点課題の討議…職員会議に重点課題コーナーを設け、発表し合うことによって、更に保育の視野と深みをつけ、ミッションを高め合うことが出来た。

III. コリックス分園設立

宗像市総合施設宗像コリックスの中に野ばら保育園分園(定員20人)を開室

令和2年度、市の待機児童対策の一環として、分園の取り組みの話が持ち上がる。宗像市の文化総合施設の中の空室に保育園建設となった。

当法人さいわい福祉会が受けることとなり、昨秋より工事に入る。市文化スポーツ部とコリックス関係者、野ばら両園園長、設計者、工事請負の片山組が毎週1回、工程会議をしながら進める。

令和3年3月 コリックス分園完成

令和3年4月 定員 20 名中18名入園、職員10名で開園

IV. 職員・保育士確保と処遇改善

採用…令和2年度は、新卒の保育士4名・栄養士1名

経験者 4 名(保育士) 短時間保育士 4 名 看護師 1 名

保育支援員 2 名 補助員 4 名 その他 4 名 を採用

おかげで令和3年度のスタート人員は確保できたが、途中入園等の緊急入所には対応できないので、2~3 名採用したいところである。

処遇改善

- ① 国の方針により、保育士等の処遇改善に取り組んで6年になり、徐々に給料UPが進んでいる。パート保育士も時間給が1,000円となった。
- ② 新採用正規保育士に対して、就職支援金10万円が宗像市より支給される。対象7名

V. 事務処理の見直しと充実に向けて

- ① 国の方針が事務的に複雑化し、(キャリアパス・処遇改善・保育支援、補助等々の考え方)年々、変化があるので、対応が追い付いていない現状がある。
 - ② 園長がアナログなので(保育運営には不都合はないが)、ホームページ等「現状を見える化」する時間的余裕がない。
- ※ 上記のような状況があるので、見直しと充実を図っていく。